

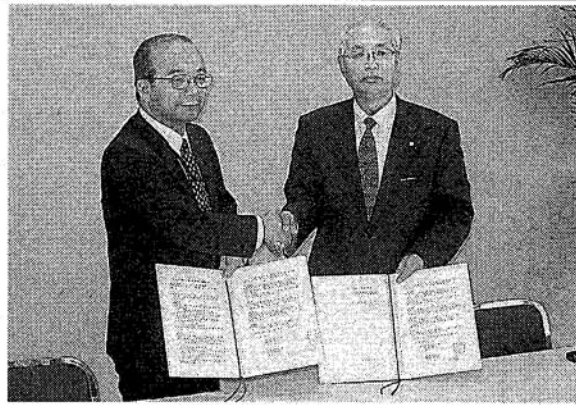
大協 福島 協信金

地域産業活性化に貢献

福島大と県信用金庫協会は十七日、県内の経済と産業の活性化を目的とした連携協力協定を締結した。同日、福島市の同大で協定書の調印式を行い、大学の研究成果と信用金庫が持つ中小企業情報を活用しながら、地域経済に貢献することを確認した。

同大は昨年三月に東邦銀行と連携協定を結んでおり、大学と信用金庫から会長の牧野富雄、白河信用金庫理事長ら八信用金庫理事長が出席。今野学長が「地域経済を支える信金との連携で地元産業の活性化に成果を上げたい」、牧野会長が「地元中小企業と大学をつなぐ役割を果たし、産学連携を推進する」とあいさつした。

今後、同協会は信用金庫の取引先の中小企業のニーズと、同大が保有する研究成果とのマッチングに取り組み。また、同協会からの要請に応じ、同大の専門家が地元



連携協力協定書に調印する今野学長(左)と牧野会長

初ケースという。調印式には、今野順夫学長ら福島大幹部、協会から会長の牧野富雄、白河信用金庫理事長ら八信用金庫理事長が出席。今野学長が「地域経済を支える信金との連携で地元産業の活性化に成果を上げたい」、牧野会長が「地元中小企業と大学をつなぐ役割を果たし、産学連携を推進する」とあいさつした。

今後、同協会は信用金庫の取引先の中小企業のニーズと、同大が保有する研究成果とのマッチングに取り組み。また、同協会からの要請に応じ、同大の専門家が地元

中小企業や経営者団体を対象としたセミナーで講師を務め、中小企業の経営改善や創業を支援する。各信用金庫は同大からのインターンシップを受け入れる。

協定の実効性を高めるため、同大は各信用金庫の職員を「地域創造支援センター連携協力員」に委嘱し、協力を通じて地域の情報を吸い上げることにしている。

調印式に引き続き、大学幹部と各信用金庫理事長との公開座談会が開かれ、「地域社会および地域経済の活性化にいかに関与するか」をテーマに意見交換した。

ガンリン卸価格引き上げへ

新日石、原油高騰を反映

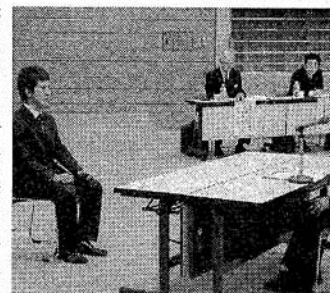
石油連盟の渡文明会長(新日本石油会長)は十六日、六日程度引き上げるとみられる。ライバルの元売大手も追随する公算が大きい。

石油情報センターが十七日発表した石油製品市況の週間動向調査(十五日現在)によると、レギュラーガソリンの全国平均は、

県内は14円前週比30銭高

県内は、レギュラーガソリンが前週に比べ二円当たり三十銭高の百四十四円十銭。ハイオクは四十銭高の百五十五円七十銭、軽油は四十銭高の百二十二円八十銭となった。

企業の情報熱心 福島で合同説明会



自己PRのポイントなどを見せた模擬面接

正社員の採用を考える企業と求職者との出会いの場を提供する合同企業説明会「出会いの場2007 IN ふくしま」は十七日、福島市国体記念体育館で開かれた。

雇用・能力開発機構福島センター、福島市の主催。福島労働局などの主催。福島民報社などの後援。新たな雇用創出を目的として毎年開かれていて、中核の中心に正社員

員の採用を予定している企業百十五社が参加し、来春の新規高卒予定者を除く求職者約七百人が訪れた。

会場では今回初めて企業面接で上手に自己PRする方法などを教える模擬面接の寸劇を開いた。

人材マッチングコーナーでは各企業がそれぞれブースを設け、企業情報の提供や面接を行った。

福島の「高度IT人材育成事業・組込み技術者養成講座」は二十日からの県内六会場で開かれる。テレビ、自動車、冷蔵庫などに内蔵されているコンピュータシステム

郡山信用金庫の第二十七回懸賞付き定期預金の公開抽選会は十七日、郡山市の同信金本店で開かれ、当選番号が決まった。三百万、ラッキーB賞同額、一年ものスパー定額で、一口十万円に一本の抽選番号を付けた。今年六月から八月にかけて総額百五十億円を発売した。

▽特賞(各組共通下4けた) 116002、95611、6077ラッキーA賞(同) 058、6017ラッキーB賞(同) 460、370、780

放置自転車をリサイクル



大学生に無料で貸し出される再生自転車

バイクオフコーポレーション(いわき)

オートバイ買取・販売のバイクオフコーポレーション(本社、いわき市、稲本勝美社長)は放置自転車をリサイクルして大学生へ上の広告掲載、循環型社会を構築した。協賛企業を無料レンタルする「エコーチャリ.com」事業をスタートさせた。インをスタートさせた。インがあるという。バイクオフは約三年前に開設し、今月から東北大などの放置バイクを申し込み受け付けをスタートさせた。再生したバイクを再び

体など放置に悩む管理者から自転車の提供を受けたため「学生に物を大切にする意識を高めてほしい」と、卒業時に卒業時まで貸し出す独自のシステムを構築した。協賛企業を無料レンタルする「エコーチャリ.com」事業をスタートさせた。インがあるという。バイクオフは約三年前に開設し、今月から東北大などの放置バイクを申し込み受け付けをスタートさせた。再生したバイクを再び

このうち五台は県内の大学生限定で貸し出す。来月五日に抽選会を開く。ホームページはhttp://ecochari.com

問い合わせは同社電話0246(34)5685へ。

懸賞付き定期預金の抽選



抽選するミス秋姫の佐藤さん